

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 株式会社ゼネテック 上場取引所 東
 コード番号 4492 URL <https://www.genetec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 上野 憲二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 中島 宏満 TEL 03 (6258) 5612
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 後日開示予定
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 後日配信予定

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,537	17.5	△150	-	△162	-	△131	-
2022年3月期第2四半期	2,159	-	165	-	229	-	86	-

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △131百万円 (-%) 2022年3月期第2四半期 86百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△34.87	-
2022年3月期第2四半期	23.24	22.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,978	1,707	57.3
2022年3月期	3,253	1,859	57.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,707百万円 2022年3月期 1,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	4.00	-	10.00	14.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,960	27.3	270	42.0	260	2.1	170	200.1	45.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	3,881,000株	2022年3月期	3,861,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	110,158株	2022年3月期	112,158株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	3,758,066株	2022年3月期2Q	3,716,039株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、これまで大きな影響を受けていた新型コロナウイルス感染症対策が新たな段階へ移り、各種政策の効果により持ち直していくことが期待されております。一方で、原油価格の高騰やウクライナ紛争、世界的な金融引締めなどが続き、海外景気は下振れ傾向となっております。この状況が、我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、金融資本市場の変動等が企業運営に与える影響に十分注意が必要です。また、半導体製造部品の世界的な供給不足が発生しており、製造業への影響が懸念されます。

当社グループが属する情報サービス産業においては、社会のデジタルトランスフォーメーション（DX）に対する需要を背景に、さまざまな分野において、積極的なIT投資が継続しております。当社は、製造業におけるDX推進に向けて、各種ソリューションの拡販体制を強化するべく、積極的な人材獲得、営業活動の円滑化と採用力の強化を企図した認知度向上施策、および企業ブランディング活動を行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,537百万円（前年同期比17.5%増）、営業損失は150百万円（前年同期は営業利益165百万円）、経常損失は162百万円（前年同期は経常利益229百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は131百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益86百万円）となりました。

各セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(デジタルソリューション事業)

オートモーティブ関連分野において開発案件が順調に進捗したことに加え、デジタル情報家電分野における開発案件の規模が拡大したことから、当事業の業績は好調に推移いたしました。売上のさらなる拡大のため、既存顧客へ保有技術の横展開を含む幅広い提案活動を行うと共に、強みである要素技術をベースに大手製造業や成長企業との新規取引の獲得を継続して行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,701百万円（前年同期比25.0%増）、セグメント利益は312百万円（前年同期比28.5%増）となりました。

(エンジニアリングソリューション事業)

主力商材である3次元CAD/CAMソフトウェア「Mastercam」においては、主要顧客が属する中小製造業の景況感

は回復基調にあるものの、半導体の供給不足等による工作機器の納入遅れに伴い、同時納品することの多い「Mastercam」についても納品遅れが発生しております。さらに、円安によるドル建てライセンス料の高騰により仕入額に影響がでております。

製造ラインや物流倉庫等の生産性の大幅向上を実現する3次元シミュレーションソフトウェア「FlexSim」に関しては、認知が広がりライセンス販売が増えております。下半期の拡販を加速するために営業人材の積極的な採用を行い、展示会等への出展による潜在顧客の発掘や顧客ニーズに合わせた柔軟な販売方法の提案活動を強化しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は631百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益は78百万円（前年同期比37.0%減）となりました。

(ココダヨ事業)

「ココダヨ」サービス全体の累計インストール数は2022年9月末時点において累計90万を突破し、堅調に推移しております。これには、本年7月に実装した、新規ユーザーの獲得とサービス向上を目的とした新機能「不審者情報通知機能」も寄与いたしました。しかしながら、「ココダヨ」のアプリを提供している「スゴ得コンテンツ」向けサービスにおいては、他アプリ使用状況の影響もあり、「ココダヨ」の使用率が従来の水準を相対的に下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は208百万円（前年同期比8.1%減）、セグメント利益は36百万円（前年同期比64.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,169百万円となり、前連結会計年度末に比べて301百万円減少いたしました。これは、主に受取手形及び売掛金の減少161百万円、未収入金の減少105百万円等によるものであります。固定資産は808百万円となり、前連結会計年度末に比べて26百万円増加いたしました。これは主に、投資その他の資産の繰延税金資産の増加59百万円、有形固定資産の減少39百万円等によるものであります。

この結果、総資産は2,978百万円となり、前連結会計年度末に比べて274百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は932百万円となり、前連結会計年度末に比べて107百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の増加300百万円、未払金の減少277百万円、賞与引当金の減少51百万円、買掛金の減少37百万円、1年内償還予定の社債の減少25百万円等によるものであります。固定負債は339百万円となり、前連結会計年度末に比べて14百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は1,271百万円となり、前連結会計年度末に比べて122百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,707百万円となり、前連結会計年度末に比べて152百万円減少いたしました。これは主に、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失の計上131百万円等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間末におけるキャッシュ・フローは、営業活動により202百万円の減少、投資活動により35百万円の減少、財務活動により212百万円の増加となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は952百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは202百万円の減少となりました。これは主に、未払金の減少294百万円、税金等調整前四半期純損失の計上177百万円、売上債権及び契約資産の減少171百万円、減価償却費の計上54百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは35百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出70百万円、敷金の回収による収入77百万円、無形固定資産の取得による支出20百万円、その他の支出21百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは212百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の増加300百万円、長期借入金の返済による支出25百万円、社債の償還による支出25百万円、配当金の支払額37百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月16日に発表いたしました業績予想に変更はありません。なお、今後業績予想の修正が必要であると判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,044,853	1,018,664
受取手形及び売掛金	951,504	790,055
契約資産	65,989	86,117
電子記録債権	87,185	66,140
商品	8,411	7,678
仕掛品	30,694	36,544
原材料及び貯蔵品	21,587	17,192
未収入金	149,063	43,920
その他	111,477	103,256
流動資産合計	2,470,766	2,169,570
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	74,794	73,365
工具、器具及び備品(純額)	103,067	65,446
有形固定資産合計	177,861	138,812
無形固定資産		
のれん	187,261	173,886
ソフトウェア	57,521	67,237
その他	31,456	32,593
無形固定資産合計	276,239	273,717
投資その他の資産		
敷金及び保証金	114,900	112,284
繰延税金資産	203,433	262,964
その他	10,100	21,156
投資その他の資産合計	328,434	396,405
固定資産合計	782,535	808,935
資産合計	3,253,302	2,978,505

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	208,511	171,102
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	4,392	—
1年内償還予定の社債	25,000	—
未払金	422,132	144,685
未払法人税等	35,197	21,695
契約負債	12,540	17,734
賞与引当金	223,788	172,737
受注損失引当金	—	8,734
その他	108,109	95,478
流動負債合計	1,039,671	932,168
固定負債		
長期借入金	21,228	—
退職給付に係る負債	332,598	339,130
固定負債合計	353,826	339,130
負債合計	1,393,498	1,271,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	358,652	366,372
資本剰余金	487,562	495,661
利益剰余金	1,019,235	850,718
自己株式	△5,646	△5,546
株主資本合計	1,859,803	1,707,206
純資産合計	1,859,803	1,707,206
負債純資産合計	3,253,302	2,978,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,159,225	2,537,562
売上原価	1,264,853	1,567,523
売上総利益	894,372	970,038
販売費及び一般管理費	729,174	1,120,832
営業利益又は営業損失(△)	165,197	△150,794
営業外収益		
受取利息	62	49
雑収入	986	997
保険解約返戻金	65,155	—
その他	38	34
営業外収益合計	66,242	1,081
営業外費用		
支払利息	192	864
支払手数料	525	225
為替差損	849	11,711
その他	124	28
営業外費用合計	1,691	12,830
経常利益又は経常損失(△)	229,749	△162,543
特別損失		
本社移転費用	71,707	—
訴訟和解金	—	15,000
特別損失合計	71,707	15,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	158,041	△177,543
法人税、住民税及び事業税	32,411	13,016
法人税等調整額	39,280	△59,531
法人税等合計	71,691	△46,514
四半期純利益又は四半期純損失(△)	86,350	△131,028
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	86,350	△131,028

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	86,350	△131,028
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	86,350	△131,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,350	△131,028

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	158,041	△177,543
減価償却費	10,850	54,337
のれん償却額	—	13,375
本社移転費用	71,707	—
訴訟和解金	—	15,000
保険解約返戻金	△65,155	—
受取利息及び受取配当金	△62	△49
支払利息	192	864
賞与引当金の増減額(△は減少)	△46,178	△51,051
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,977	6,531
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	2,552	171,640
棚卸資産の増減額(△は増加)	9,472	△722
仕入債務の増減額(△は減少)	△54,044	12,841
未収入金の増減額(△は増加)	△9,981	41,408
前払費用の増減額(△は増加)	915	34,671
未払金の増減額(△は減少)	△48,446	△294,048
預り金の増減額(△は減少)	3,316	2,713
その他	△192	△24,560
小計	46,965	△194,589
利息及び配当金の受取額	62	49
利息の支払額	△192	△1,204
助成金の受取額	6,210	—
法人税等の支払額	△76,950	△7,194
営業活動によるキャッシュ・フロー	△23,905	△202,938
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△15,000	—
有形固定資産の取得による支出	△247	△70,443
無形固定資産の取得による支出	△32,606	△20,945
敷金の差入による支出	△81,395	—
敷金の回収による収入	81	77,249
保険積立金の積立による支出	—	△400
保険積立金の解約による収入	111,451	—
その他	725	△21,091
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,991	△35,631
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	300,000
長期借入金の返済による支出	—	△25,620
社債の償還による支出	△25,000	△25,000
配当金の支払額	△36,945	△37,478
自己株式の処分による収入	5,280	480
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,665	212,381
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△97,562	△26,188
現金及び現金同等物の期首残高	1,195,747	978,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,098,185	952,664

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる当四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルソリューション事業	エンジニアリングソリューション事業	ココダヨ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,345,191	586,551	227,482	2,159,225	—	2,159,225
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,774	—	—	15,774	△15,774	—
計	1,360,965	586,551	227,482	2,174,999	△15,774	2,159,225
セグメント利益	243,049	124,407	101,479	468,937	△303,739	165,197

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに配賦できない営業費用であり、その主なものは本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルソリューション事業	エンジニアリングソリューション事業	ココダヨ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,696,824	631,773	208,964	2,537,562	—	2,537,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,679	—	—	4,679	△4,679	—
計	1,701,504	631,773	208,964	2,542,242	△4,679	2,537,562
セグメント利益	312,221	78,408	36,269	426,900	△577,694	△150,794

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに配賦できない営業費用であり、その主なものは本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。